



外国出張報告書

平成 26 年 10 月 6 日

1. 出張国名 ラオス、タイ
2. 出張月 平成 26 年 8 月～9 月
3. 出張目的 インドシナ半島地域における安定的果樹栽培技術の確立のための
現地実証試験：C

4. 成果の概要

ラオスでは共通研究サイトを訪問し、果樹園に植栽した苗木の成育状況を調査した。成育が良好な樹も見られ、苦土石灰処理による土壌 pH の改善も見られたが、一部では土壌改良の継続が必要と思われた。ラオスの園芸研究所では、接ぎ木作業を行うとともに、挿し木試験の進捗状況を確認した。タイではチャンタブリ園芸研究センターにおいて、マンゴスチンとランブータンの花芽誘導試験での葉分析を確認するとともに、花芽分化に関する今年の試験結果をまとめた。これらの樹種における花芽分化のパターンを理解するには、樹体養分のさらなる分析が必要と思われた。また、ラオス（乾燥）とタイ（湿潤）の気象条件の違いがランブータンの花芽分化におよぼす影響を調査するため、気象観測を開始した。